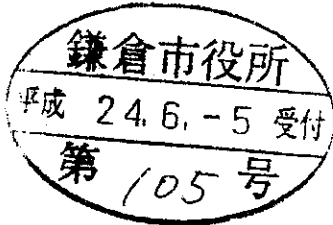


相互提案協働事業 報告書

平成24年 6月 4日

（あて先）鎌倉市長殿



住所 [Redacted]

郵便番号 [Redacted]

団体名 特定非営利活動法人地域生活サポートまいなび

代表者氏名 野村 満 [Redacted]

平成 23 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	障害者就労支援・雇用促進普及啓発事業
事業概要	<p>障害者雇用や就労支援に関する理解を深め、普及啓発を図る講演及びシンポジウム事業を市と協働して実施いたしました。</p> <p>内容</p> <p>障害者雇用を積極的に取り組んでいる企業による基調講演。 就労移行支援・就労定着支援事業を実施している事業者、障害者雇用を推進している企業や団体、職業訓練支援など就労に向けた支援を実施している教育機関、福祉施策として就労支援に取り組む公的機関など就労支援、障害者雇用に関わる関係機関や障害者と保護者が参画した、パネルディスカッションによるシンポジウムの開催。 障害者雇用に取り組む市内企業の事例紹介や就労支援機関や事業所の事業紹介、障害者からの就労状況の報告など。</p>
市担当課	障害者福祉課
事業実施期間 （継続中の事業については、継続に○をつける）	<p style="text-align: right;">継続</p> <p>開始 平成 23 年 11 月 15 日 ～ 終了 平成 24 年 3 月 31 日</p>
協働の形態	市提案協働事業
事業費	100,000 円

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点></p> <p>① 「障害者雇用や就労支援に関する取組み状況や課題の把握」について</p> <p>経営者による講演という形で市民にわかりやすく障害者の雇用状況の実際を伝えることを目標とした。当日実施した参加者へのアンケートの回答では「企業の方が障害者の雇用についてどのように考えているかが具体的にわかって良かった」などの意見が多くあり、数値だけでは見えてこない具体的な状況のイメージを伝達できたことは講演という形の特性を活かした結果であり、目標を達成できたといえる。</p> <p>② 「障害者の働く場の充実と雇用促進に向けた普及啓発」について</p> <p>経営者・障害者・支援者の参画によるフリートーク、パネルディスカッションのプログラムという形で市民や市内企業に障害者雇用の実際や雇用を助成する制度などを具体的に伝えることを目標とした。当日実施した企業の参加者によるアンケートの回答では「障害者の雇用の予定について、具体的に検討・相談したい」など雇用に積極的な回答があり、目標を達成できたといえる。</p> <p><達成できなかった点></p> <p>広く市民に向けた事業ではあるが、特に企業関係者に積極的に参加していただくということも目標とした。企業の参加者が来場者全体の約1割であり、これは見込より少ない結果となったといえる。</p>															
<p>成果・効果</p>	<p>来場者数について</p> <p>◆開催当日に受付にて来場者名簿を設置しており、当日記帳のあった来場者数は137名であった。</p> <table border="1" data-bbox="491 1227 1442 1429"> <thead> <tr> <th colspan="5">内訳</th> </tr> <tr> <th>① 企業</th> <th>② 当事者 または 家族</th> <th>③ 支援者</th> <th>④ その他 市民</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15名</td> <td>58名</td> <td>34名</td> <td>38名</td> <td>137名</td> </tr> </tbody> </table> <p>記帳されずに参加された方も多く見受けられたため概数としては当日参加者数は全体で160名程度と推計される。</p> <p>普及・啓発について</p> <p>◆当日アンケート用紙を配布し、アンケートを実施した。アンケート回答総数は37件であった。</p> <p>●啓発に関連する設問と回答</p> <p>【設問】本日のシンポジウムは参考になりましたか？ 参考になったと回答 32名/37名</p> <p>【設問】立場について（企業・当事者または家族・支援者・その他） 企業と回答 4名/37名</p> <p>【設問】企業と答えた方で、今後障害者の雇用の予定について、具体的に検討・相談したいなど雇用に積極的な回答 3名/4名</p>	内訳					① 企業	② 当事者 または 家族	③ 支援者	④ その他 市民	合計	15名	58名	34名	38名	137名
内訳																
① 企業	② 当事者 または 家族	③ 支援者	④ その他 市民	合計												
15名	58名	34名	38名	137名												

<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>課題は「企業関係者の積極的な参加」である。今回は企業の参加者が見込みより少なかったことが問題点として挙げられる。</p> <p>改善点として、申込み方法を「事前の電話申し込み制」にすることや、広報について開始する時期を早くすること、より多くの関係機関に対し協力を依頼することなどが挙げられる。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>市との協働という点では特に企画内容について何度も打ち合わせを行い、練り上げることができた。また、当日の進行も直前にも打ち合わせを行いスムーズに運営できた。</p> <p>団体としては、パネリスト・講演者の出演者依頼に団体としての強み・特性を活かし、魅力的なシンポジウムを開催することができた。今回の単年度事業としての普及・啓発のシンポジウムはこれまでの市内就労支援機関の取り組みをアピールする広報活動として一定の成果があったと言える。</p> <p>今後については未定であるが、広報的な性質の事業よりも企業に対して直接的に働きかけることのできるような継続性のある協働事業が望ましいと思われる。</p>

添付資料

- ① 平成 23 年事業実績報告書
- ② 平成 23 年度収支決算書

相互提案協働事業「障害者就労支援・雇用促進普及啓発事業」

平成23年度収支決算書

科目	金額	備考
<収入>		
協働事業市負担金	¥100,000	
<支出>		
講演者謝礼金（7名）	¥58,000	
ポスター・チラシ代金	¥26,000	
清花代	¥5,000	
会合費	¥3,000	
通信費・消耗品費	¥3,000	
看板代	¥5,000	
合計	¥100,000	

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(23 年度)

事業名 : 障害者就労支援・雇用促進普及啓発事業

担当課名 : 障害者福祉課

市民活動団体名 : NPO法人地域生活サポートまいんど

評価項目		役割担当	市民活動	行政担当	理由
			団体	課	
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり充分な話し合いができたか	○	○	
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	
9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	○	○	
10		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
11		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
12		定められた役割分担は守られたか	○	○	
13		市民サービスは向上したか	○	○	
14		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	
15	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	(まとめ) 今回、はじめて障害者の就労をテーマに講演会やシンポジウムを開催し、広く市民への障害者の就労の状況について普及・啓発が図られました。今後は、このような事業を、時機を見て開催し、障害者の就労状況について、広く市民に周知する機会を得たいと考えます。		

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由蘭は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 地域のつながり推進課 地域のつながり推進
担当 電話23-3000 内線2311